

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東京市町村総合事務組合		代表者名	管理者 加藤育男
担当者部署	教務課		連絡先電話番号	042-384-6444
担当者役職	主任	担当者氏名	佐藤さなえ	連絡先E-mail
住所	183-0052 東京都府中市新町2-77-1			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	多田 功
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修の対象者は都内39市町村の職員であり、部署や年齢・職層も様々であることを考慮しつつ、本研修目標に沿った内容を構築し研修いただいた。特に、自治体DXの本質は「課題」を発見し「目的」を的確に設定することである、ということに重きをおき、研修目標に掲げていた「DXを自分ごと化する」という点について、自治体職員であった多田氏のご経験をふまえて講義いただいたことから、非常にイメージしやすく、DXの本質を身近に感じることができる内容であった。演習では地方公共団体の役割である「住民の福祉の増進を図る」を「目的」とし、well-beingの指標及びオープンデータを用いたSWOT分析を実施。課題の的確な把握から実効性のある事業（施策）の検討まで、一連のプロセスを体感できた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月8日	講演(実地)	有	令和5年11月30日	1054
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月14日	講演（実地）	8時30分	16時30分	80
				活動時間（分）	400
3-2. 派遣場所	会場名	東京自治会館 本館3階309研修室	最寄駅	武蔵小金井駅	
	所在地	東京都府中市新町2-77-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（研修生21名、研修担当者2名）	23人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	東京都内39市町村では、自治体DX推進の必要性を認識し自分自身の取組みとして捉える、といった機運は高まりつつあるが、自治体業務に実際にデジタル技術を取り入れる具体的手法が根付いていない状況であり、基礎自治体の職員として、デジタル技術を取り入れた施策の発想力もまだまだ乏しい状況がある。 このような状況があるなか、上記のような研修目的を達成するための具体的な研修内容が定まっていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修（「自治体におけるデジタル技術の基本と活用」）を実施し、受講した職員が以下の2点を習得できること。 ・最新のデジタル技術の動向と自治体における事例を学ぶ。 ・DXを「自分ごと化」し、デジタル技術を活用した施策のアイデアを自ら発想し具現化できるようになる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・都内市町村職員である研修生を対象にした、研修内容の構築と実施。研修時間は、午前3時間、午後3時間30分を設定し、午前は講義、午後はワークショップを実施。 ・「自治体DX」の本質は「課題」を発見し「目的」を的確に設定することである、ということに重きをおき、自治体職員であった多田氏のご経験をふまえて講義いただいた。 ・演習では「well-being」の指標及びオープンデータを用いたSWOT分析を実施し、課題の的確な把握から実効性のある事業（施策）を検討した。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 「自治体におけるデジタル技術の基本と活用」研修の企画について、研修内容の決定と実施。 受講した研修生が、自治体DX推進の必要性を認識し、自分事として捉える気づきを得たこと。また、オープンデータの分析手法等をご教示いただくことにより、施策への実現方法を具体的に学んだことによる、研修目標の達成。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	次年度新設する研修体系「デジタル人材育成研修」における、各研修の企画・実施	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	研修名に対する指摘もあったが、研修後アンケートの数値で5段階評価中5及び4と回答した者は、講義理解度 86%、職務役立ち度 86%、講師の説明のわかりやすさ 90%であり、概ね高評価である。アンケートの詳細は、別紙。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	市町村職員のデジタルリテラシーの向上と情報の利活用への対応、市町村のデジタル化に寄与する情報技術の付与を目的とした「デジタル人材育成研修」を新たに体系として設置し、この体系内に各研修を企画・実施する。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

